

授業科目 地域福祉論Ⅱ

【担当教員名】 園田 恭一	対象学年	2	対象学科	作業・社会
	開講時期	後期	必修・選択	選択・必修
	単位数	2	時間数	30
<p><概要></p> <p>地域福祉論Ⅰを踏まえて、①地域福祉の展開過程、②地域福祉におけるサービスの需要者・利用者とサービスの供給者・提供者③市区町村社会福祉協議会など、各論を具体的に講義する。</p>				
<p><学習目標></p> <p>①欧米と日本における地域福祉の源流と潮流について学ぶ ②社会福祉の需要と供給の双方並びに関連について理解する ③地域福祉の仕組みについて学ぶ</p>				
回数	授業計画又は学習の主題			SBO
				番号
1	地域福祉の展開過程	イギリスの地域福祉とコミュニケアの展開		
2	"	アメリカの地域福祉とコミュニティ・オーガニゼーション		
3	"	日本の地域福祉の源流①		
4	"	" ②		
5	地域福祉の供給者	地域福祉の仕組み		
6	"	地域福祉の供給者・提供者		
7	"	地域福祉の担い手		
8	"	地域福祉と通所施設		
9	社会福祉協議会	社会福祉協議会の理念と組織		
10	"	" の財政と経営		
11	地域福祉の担い手	社会福祉士、介護福祉士		
12	"	民生委員、児童委員		
13	地域福祉計画	計画の系譜、歴史		
14	"	計画と住民参加		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>
教科書				<発行年・価格・その他>
参考書		『地域福祉事典』	日本地域福祉学会編	中央法規
その他の資料		その都度配布する。		
【評価方法】 レポートと期末試験		【履修上の留意点】 受け身ではない積極的な参加を望む。		